

現在の生育は平年より遅く、今後の気温が平年より高く推移した場合、**出穂期は4月23日頃**と予想されます。追肥、防除を遅れないようにしましょう。

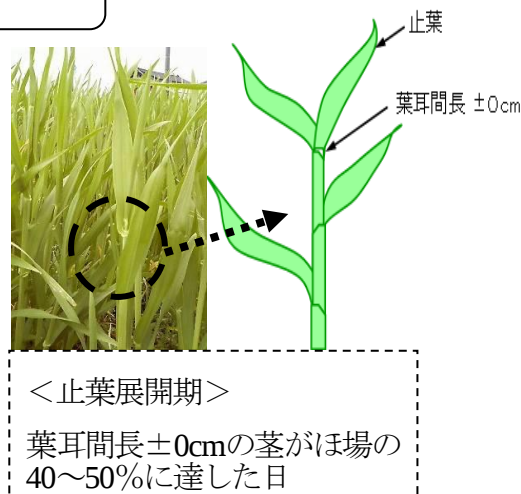
1 止葉展開期追肥(分施肥系)

品質を確保するため、下表を参考に、ほ場毎に茎数と葉色を確認し、遅れずに追肥しましょう。また、過剰に施用した場合、硝子率が高くなるため、生育量に応じて施用しましょう。

施用時期の目安 4月12日頃

表 止葉展開期の生育量と追肥量の目安

葉色板値 (SPAD値)	予想穂数 (本/㎡)	硫安の追肥量 (10a当たり)
5未満 (45未満)	—	7kg
5以上 (45以上)	500本未満	5kg
	500本以上	追肥しない



※基肥に**Jコート大麦48号**を使用している場合は、硝子率が高くなる恐れがあるため、追肥はしないでください。

2 赤かび病の防除

出穂期以降に雨や高温多湿条件が続くと、赤かび病が発生しやすくなります。穂揃期の防除が最も効果的です。**適期に防除を行うための準備をしましょう。**

【散布時期の目安】

1回目	穂揃期（開花始め） 4月26日頃
2回目	1回目から7日後

※ほ場によるバラつきが大きいので、出穂状況を確認して防除を行いましょう。
(裏面もご覧ください。)

【防除薬剤】

		薬剤名	散布量・希釈倍数
粉 剤	1回目	ワークアップ粉剤DL	3 kg/10a ※散布量に注意
	2回目	トップジンM粉剤DL	4 kg/10a
液 剤	1回目	ワークアップフロアブル	動力噴霧機 2,000倍液 150ℓ/10a 無人航空機 16倍液 0.8ℓ/10a
	2回目	トップジンMゾル	動力噴霧機 1,500倍液 150ℓ/10a 無人航空機 8倍液 0.8ℓ/10a

注意事項

※防除時期に降雨が続く場合でも、雨の晴れ間をみて適期防除を行いましょう。

※散布は風の弱い時間帯を選ぶなど、周辺作物への飛散防止に努めましょう。

農協での無人航空機防除は、生育に応じて実施します。

3 排水対策

ほ場内に停滞水があると湿害で葉色が淡くなり、登熟不良により収量・品質が低下します。

排水溝の崩れや**排水口への連結状況等を再度点検し、手直し**して湿害を回避しましょう。



・ **排水口の掘り下げ**
・ **溝の連結**
を確認しましょう。

春の農作業安全運動実施中

- ・ 農場や農道などの危険箇所を事前に確認し、改善に努めましょう。
- ・ 4/20～5/20農業用水路転落事故防止強化期間です。「自分は大丈夫」との認識を改めましょう。